



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月24日

上場会社名 富士通コンポーネント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6719 URL http://www.fujitsu.com/jp/fcl/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 博昭
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)倉本 雅晴 (TEL)03-3450-1601
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 24,303 | 3.2 | 320 | 46.0 | 450 | — | 295 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 23,547 | △0.7 | 219 | △11.1 | △280 | — | △441 | — |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 500百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △1,146百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 20.23 | — |
| 29年3月期第2四半期 | △38.86 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 42,541 | 3,204 | 7.5 |
| 29年3月期 | 42,553 | 2,703 | 6.4 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,204百万円 29年3月期 2,703百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | — | — | 0.00 | 0.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 49,700 | 2.1 | 1,000 | 0.2 | 1,100 | 55.1 | 800 | 70.3 | 54.68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期2Q | 14,629,626株 | 29年3月期 | 14,629,626株 |
| ② 期末自己株式数 | 40株 | 29年3月期 | 20株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 14,629,604株 | 29年3月期2Q | 11,350,937株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| 3. その他 | 11 |
| (1) 受注及び販売の状況 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、堅調に推移する欧米経済や、中国や新興国経済についても回復基調となっており、北朝鮮問題など地政学的なリスクはあるものの総じて緩やかな回復基調で推移しております。

日本経済につきましても、円安基調により輸出企業を中心に業績が回復しており、緩やかながらも改善傾向が続いております。

当社グループが属する電子部品業界におきましては、需要が高水準で推移している車載関連向けに加え、産業機器向けでも市況が回復傾向で推移しております。

このような環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、車載用コントロールユニットで売上減となったものの、リレー、タッチパネルを中心とした物量増や円安傾向で推移した為替の影響もあって、前第2四半期連結累計期間に比べ756百万円増となる24,303百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

[連結売上高]

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 前年同期比 | |
|---------------------|---|---|-------|--------|
| | | | | 増減率 |
| スイッチングデバイス部門 | 10,262 | 11,301 | 1,038 | 10.1% |
| ヒューマンインターフェースデバイス部門 | 8,886 | 9,273 | 386 | 4.4% |
| その他 | 4,398 | 3,729 | △669 | △15.2% |
| 合計 | 23,547 | 24,303 | 756 | 3.2% |

(スイッチングデバイス部門)

リレー、コネクタともに売上増となり、売上高は11,301百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

(ヒューマンインターフェースデバイス部門)

サーマルプリンタ及びKVMスイッチで売上減となったものの、タッチパネルや無線モジュール等で売上増となり、売上高は9,273百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

(その他)

車載用コントロールユニットが売上減となったことから、売上高は3,729百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

[地域別の売上]

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 前年同期比 | |
|----------|---|---|-------|---------|
| | | | | 増減率 |
| 日本 | 12,614 | 12,283 | △331 | △2.6% |
| アジア | 7,774 | 8,452 | 677 | 8.7% |
| 北米 | 1,388 | 1,616 | 228 | 16.5% |
| ヨーロッパ | 1,769 | 1,950 | 181 | 10.2% |
| 合計 | 23,547 | 24,303 | 756 | 3.2% |
| (海外売上比率) | (46.4%) | (49.5%) | | (3.1%) |

(日本)

国内は、リレー、コネクタ、タッチパネル、無線モジュール等で売上増となりましたが、車載用コントロールユニットやサーマルプリンタで売上減となったことから、売上高は12,283百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

(アジア)

アジアは、リレー及びタッチパネルが好調に推移し、売上高は8,452百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

(北米)

北米は、車載向けリレーが好調に推移し、売上高は1,616百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

(ヨーロッパ)

ヨーロッパは、リレー及びサーマルプリンタが売上増となったことから、売上高は1,950百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

損益面につきましては、車載業界向けを中心としたリレー、タッチパネル等の増産効果や円安の影響もあって、営業利益は320百万円（前年同期比46.0%増）となりました。経常利益につきましては、為替が円安基調で推移したことから、当第2四半期連結累計期間において101百万円の為替差益の計上となり（前第2四半期連結累計期間は499百万円の為替差損）、450百万円の経常利益（前年同期は280百万円の経常損失）を計上いたしました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税等を154百万円計上したことから、295百万円（前年同期は441百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて12百万円減少し、42,541百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、26,586百万円となりました。主に、現金及び預金は1,142百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が943百万円、商品及び製品が273百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し15,954百万円となりました。設備投資は1,016百万円、減価償却費は1,039百万円となっております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ513百万円減少し、39,336百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、31,798百万円となりました。主に、短期借入金は738百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が640百万円、その他の流動負債が125百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ540百万円減少し7,538百万円となりました。一年内に返済予定の割賦債務の流動負債への振替等によりその他の固定負債が477百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ500百万円増加し3,204百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上295百万円、為替換算調整勘定の増加226百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,142百万円増加し、2,454百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,454百万円の収入(前年同期比476百万円増)となりました。収入は主に、税金等調整前四半期純利益450百万円、減価償却費1,039百万円、売上債権の減少1,070百万円、仕入債務の増加652百万円等によるもので、支出はその他固定負債の減少349百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,111百万円の支出(前年同期比502百万円増)となりました。主に、有形固定資産の取得による支出1,073百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,294百万円の支出(前年同期比730百万円増)となりました。主に、短期借入金の減少809百万円、割賦債務の返済による支出447百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、全体としては引き続き需要増が見込まれるものの、一部の海外自動車メーカーで完成車の生産減の傾向が見られるなどリスク要因が顕在化してきております。当社グループといたしましては、これ以外の需要が旺盛な車載向けリレーやタッチパネルを中心に引き続き生産・供給体制の拡充を図るとともに、好調を持続している産業機器向けの売上増加を見込むことでリスク要因へ対応してまいります。

これらの状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成29年10月16日に公表した前回公表値を据え置きます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2017年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,311 | 2,454 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,419 | 16,476 |
| 商品及び製品 | 4,719 | 4,446 |
| 仕掛品 | 774 | 833 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,322 | 1,327 |
| その他 | 1,158 | 1,131 |
| 貸倒引当金 | △70 | △82 |
| 流動資産合計 | 26,635 | 26,586 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,735 | 2,734 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 5,565 | 5,909 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 997 | 901 |
| 土地 | 3,936 | 3,936 |
| 建設仮勘定 | 1,773 | 684 |
| 有形固定資産合計 | 14,008 | 14,165 |
| 無形固定資産 | 1,381 | 1,347 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 558 | 470 |
| 貸倒引当金 | △29 | △29 |
| 投資その他の資産合計 | 528 | 441 |
| 固定資産合計 | 15,918 | 15,954 |
| 資産合計 | 42,553 | 42,541 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2017年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,567 | 15,208 |
| 短期借入金 | 13,405 | 12,667 |
| その他 | 3,797 | 3,923 |
| 流動負債合計 | 31,770 | 31,798 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,000 | 3,000 |
| 役員退職慰労引当金 | 57 | 39 |
| 退職給付に係る負債 | 3,397 | 3,351 |
| その他 | 1,624 | 1,146 |
| 固定負債合計 | 8,079 | 7,538 |
| 負債合計 | 39,849 | 39,336 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,764 | 6,764 |
| 資本剰余金 | 6,654 | 6,654 |
| 利益剰余金 | △10,707 | △10,412 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 2,711 | 3,007 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 164 | 94 |
| 土地再評価差額金 | 986 | 986 |
| 為替換算調整勘定 | △629 | △402 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △528 | △480 |
| その他の包括利益累計額合計 | △7 | 197 |
| 純資産合計 | 2,703 | 3,204 |
| 負債純資産合計 | 42,553 | 42,541 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 23,547 | 24,303 |
| 売上原価 | 18,437 | 18,788 |
| 売上総利益 | 5,110 | 5,514 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,890 | 5,194 |
| 営業利益 | 219 | 320 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 51 | 41 |
| 為替差益 | - | 101 |
| 受取ロイヤリティー | 23 | 32 |
| その他 | 27 | 54 |
| 営業外収益合計 | 101 | 230 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 60 | 56 |
| 為替差損 | 499 | - |
| その他 | 42 | 43 |
| 営業外費用合計 | 602 | 100 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △280 | 450 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △280 | 450 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 96 | 133 |
| 法人税等調整額 | 63 | 20 |
| 法人税等合計 | 160 | 154 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △441 | 295 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △441 | 295 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △441 | 295 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △48 | △69 |
| 土地再評価差額金 | - | - |
| 為替換算調整勘定 | △705 | 226 |
| 退職給付に係る調整額 | 48 | 47 |
| その他の包括利益合計 | △705 | 204 |
| 四半期包括利益 | △1,146 | 500 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,146 | 500 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △280 | 450 |
| 減価償却費 | 1,013 | 1,039 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 4 | 4 |
| 受取利息及び受取配当金 | △51 | △41 |
| 支払利息 | 60 | 56 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △548 | 1,070 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 454 | 305 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 2,215 | 652 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △0 | 4 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 1 | △17 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 31 | △0 |
| 障害対応費用引当金の増減額(△は減少) | △10 | 8 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 31 | 13 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 238 | 365 |
| その他の固定負債の増減額(△は減少) | △19 | △349 |
| その他 | 47 | 14 |
| 小計 | 3,188 | 3,576 |
| 利息及び配当金の受取額 | 27 | 41 |
| 利息の支払額 | △60 | △56 |
| 法人税等の支払額 | △180 | △154 |
| 法人税等の還付額 | 3 | 47 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,978 | 3,454 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,107 | △1,073 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 724 | 45 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △225 | △81 |
| その他 | △0 | △1 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △609 | △1,111 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 61 | △809 |
| 割賦債務の返済による支出 | △581 | △447 |
| リース債務の返済による支出 | △44 | △37 |
| 自己株式の取得による支出 | - | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △564 | △1,294 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △357 | 94 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,446 | 1,142 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,657 | 1,311 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,103 | 2,454 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間のいずれにおいても、当社グループは、スイッチングデバイス、ヒューマンインターフェースデバイス等の分野において、部品及び電子応用の機器を生産販売するエレクトロニクスメーカーとして、単一の事業活動を行っております。

当社グループで製造する製品群は、いずれも金型加工を軸とした製造過程となっており、製造設備についても、投資の意思決定は、特定の商品の状況だけではなく、すべての商品の受注、売上、製造の状況等により判断しております。

このように、当社グループでは投資の意思決定については全体で実施し、事業セグメントは単一であるため前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

①受注高

(単位：百万円)

| 事業本部 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日) |
|-------------------------|---|---|--|
| スイッチングデバイス部門 | 10,827 | 12,173 | 23,053 |
| ヒューマンインターフェース デバイス部門 | 9,789 | 10,563 | 20,433 |
| その他 | 4,667 | 3,502 | 8,376 |
| 合計 | 25,284 | 26,239 | 51,864 |
| うち輸出 (比率) | 12,048 (47.7%) | 12,969 (49.4%) | 25,084 (48.4%) |

②売上高

(単位：百万円)

| 事業本部 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日) |
|-------------------------|---|---|--|
| スイッチングデバイス部門 | 10,262 | 11,301 | 21,237 |
| ヒューマンインターフェース デバイス部門 | 8,886 | 9,273 | 19,219 |
| その他 | 4,398 | 3,729 | 8,207 |
| 合計 | 23,547 | 24,303 | 48,664 |
| うち輸出 (比率) | 10,932 (46.4%) | 12,020 (49.5%) | 22,637 (46.5%) |

③受注残高

(単位：百万円)

| 事業本部 | 前第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日) | 前連結会計年度 (2017年3月31日) |
|-------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|
| スイッチングデバイス部門 | 5,821 | 8,576 | 7,246 |
| ヒューマンインターフェース デバイス部門 | 5,421 | 7,419 | 5,983 |
| その他 | 1,358 | 1,248 | 1,399 |
| 合計 | 12,601 | 17,244 | 14,630 |
| うち輸出 (比率) | 6,399 (50.8%) | 10,119 (58.7%) | 8,498 (58.1%) |

(注) 受注高、売上高については期中平均相場により円貨に換算し、受注残高については連結決算日の直物相場により円貨に換算しております。